

## APEC 議長への書簡

インドネシア共和国大統領  
アジア太平洋経済協力議長  
Susilo Bambang Yudhoyono 閣下

拝啓

APEC ビジネス諮問委員会 (ABAC : APEC Business Advisory Council) を代表し、2013 年の私たちの最優先課題と提言を謹んでお伝えします。本年のテーマは「連携と強靱性、そして成長への架け橋」です。

本年の経済情勢は改善しているものの、グローバル経済はアジア太平洋地域における資本フローの変動や金融市場の不安定性など、依然として不確実性に満ちており、ABAC は引き続きこれを懸念しています。アジア太平洋地域がグローバルな成長のためのより確実な推進役となれるよう、参加国・地域経済の強靱性と開放性を支えるためには、行うべきことがまだ多く残されています。私たちは、APEC が成長の強化と地域統合の深化を目指し、インフラおよびコネクティビティに関する重要なアジェンダに複数年にわたりしっかりと取り組んでいこうとしていることを支持します。さらに私たちは、APEC がこれに加え、貿易・投資・サービス分野でより野心的なアジェンダを策定し、域内金融市場の強化を続けることで、より強靱かつ包摂的な成長の基礎を築くべきであると考えます。また、あらゆる人々の繁栄のために女性の社会的地位向上を進めその潜在力を発揮させることは、経済にとって肝要であり、私たちは APEC 首脳が確固としてこれを後押しするよう要請します。

成長を維持し、参加国・地域を域内市場およびグローバル市場に統合する新たな機会を開くためには、APEC 域内での大きなインフラ投資が必要です。民間分野からの投資なくしては、APEC 参加国・地域がインフラ整備費用の莫大な不足を賄うことはできないでしょう。域内貯蓄の活用拡大とともに、より革新的な資金調達の見組みの開発が必要となります。即時可能なインフラプロジェクトの不足および官民パートナーシップ (PPP : Public Private Partnerships) 実施の遅れは、投資家にとって大きな懸念事項となっています。ABAC には、インフラ投資チェックリストの作成およびアジア太平洋インフラパートナーシップ (APIP : Asia-Pacific Infrastructure Partnership) への関与を通じ、この取り組みに貢献する用意があります。APEC 首脳には、APIP が高度な専門性を有し、そのメンバーは随時、官民パートナーシップの発展のあらゆる面に関し各国・地域に助言する用意があるということを再度お伝えしたいと思います。

域内の成長を支えるために、金融市場の流動性を高め、統合を進め、安定させることが必要です。ABAC は昨年、アジア太平洋金融フォーラム (APFF : Asia-Pacific Financial Forum) の設立を提案しました。これは域内の金融市場発展の推進を目的に規制当局、金融当局、金融業界、

国際機関、基準設定機関およびキャパシティ・ビルディング関係機関の協力を強化するための地域プラットフォームとなるものです。私たちは APEC 参加国・地域が APFF 設立を承認するよう求めます。

中小・零細企業 (SMME : small, medium and micro enterprises) のクレジット・ギャップに対応する金融上の新しい解決策が緊急に必要とされています。SMME の4分の3以上は金融サービスを十分に受けられず、1.3 ~ 1.6 兆米ドルのクレジット・ギャップが生じています。ABAC は、APEC がノンバンクによる貸出手段 (エンジェルやベンチャー・キャピタルなど) の拡大、送金フローの円滑化、総合的・包括的な信用情報システムの促進、担保付貸出のための法的・制度的構造の強化により、SMME 支援の取り組みを拡大するよう求めます。

サービスと投資の高度化を体現する新たなバリューチェーンの形成は、21 世紀のビジネス情勢とグローバルなコネクティビティにおいて最も大きな意味を持つ出来事の一つです。APEC 参加国・地域にとっては、この新たな展開に対応するため、バリューチェーンの各段階に関する規制統一を進めることが極めて重要だと私たちは考えます。APEC 参加国・地域の得る利益の最大化は、国内の規制改革、投資に対する開放性の向上、国境を越えたサービス取引の自由化を通じ、サービス分野の競争力を強化することでもたらされるでしょう。こうした改革による最大の受益者は SMME です。非効率で高価格のサービスは多くの国・地域で成長への大きな制約となっており、国際市場で効果的に競争を行う能力を阻害しています。また ABAC は、取引コストを引き下げてサプライチェーンの効率を 2015 年までに最低 10%改善するためのさらなる措置を要望します。APEC 参加国・地域によるこの目標の達成には、共通のグローバルなデータ規格の採用が寄与すると私たちは確信しています。APEC 首脳には、各大臣に対し、サプライチェーン・コネクティビティ強化の計画にグローバルなデータ規格を取り入れるよう指示することを要請します。

私たちはグローバルな対外直接投資 (FDI : foreign direct investment) の縮小に直面しています。APEC 首脳には、国境を越えた投資に対する参加国・地域の開放性の維持を率先して確保し、持続可能な成長と雇用の推進力として FDI がもたらす恩恵に対する幅広い理解を促進することを推奨します。民間部門は持続可能性とインクルーシブな成長に向けた取り組みを主導しており、その貢献は拡大しています。このことは投資利益を促進する一環として認知されるべきだと私たちは考えます。APEC が参加国・地域がローカル・コンテンツ要件など保護主義的措置をとらずに雇用創出、競争、経済インクルージョンを促進するため検討している取り組みを私たちはこれまで以上に支持していきます。

ABAC は、APEC が策定した、2020 年までに食料システム構造を立ち上げることを目標とした食料安全保障に関する戦略的かつ結果志向のロードマップを、歓迎します。これには大きな官民連携が必要となります。私たちは APEC 首脳に対しロードマップが効果的に実施されるよう具体的措置が講じられるよう要請します。

私たちは、提案されている複数年にわたる APEC コネクティビティ・フレームワーク (APEC Framework on Connectivity) を歓迎します。これはボゴール目標が達成された後においても、

地域統合を深める手段としてビジネスやコミュニティに利益をもたらすとみています。私たちは重要な優先課題と解決策実施について APEC と密接に協力できることを期待しています。域内のコネクティビティを押し進めた究極の形がアジア太平洋自由貿易圏 (FTAAP: Free Trade Area of the Asia Pacific) の達成であり、これに向けた主な道筋における進展を ABAC は歓迎しています。具体的には、環太平洋パートナーシップ (Trans Pacific Partnership)、東アジア地域包括的経済連携 (Regional Comprehensive Economic Partnership)、太平洋同盟 (Pacific Alliance) における前進です。私たちは APEC 参加国・地域がこれらの交渉において、FTAAP 達成という究極の目標、および APEC の協力とインクルージョンの精神に常に合致する合意を確保し、ビジネスにとって意義あるベネフィットを実現することを推奨します。

ドーハ・ラウンド交渉の進展は遅れているものの、WTO がグローバルな貿易システムの基盤との ABAC の考えに、いささかの变化もありません。私たちは、12 月にバリで行われる第 9 回 WTO 閣僚会議において多くの意義ある成果がまとまって得られるよう、APEC が率先してグローバルな支持を集め、WTO に対するビジネス界の信頼を醸成し、そしてドーハ・ラウンドが成功裏に妥結するよう道を開くよう要請します。

ABAC は、私たちにとって最も急を要する課題に対処する手段として、本年 APEC における貿易・投資関連の作業を APEC 財務大臣プロセスに結びつけることに成功したインドネシアを称賛し、APEC がこれによる相乗効果をもとに引き続き前進することを推奨します。また私たちは、ABAC による貢献や年間を通じた大臣および政府関係者との交流拡大に対する APEC の寛大で開かれた姿勢を高く評価します。

私たちは 10 月にバリで行われる対話において、大統領閣下をはじめ APEC 首脳と上に述べた問題について詳細に議論できることを期待しております。

敬具

2013 年 ABAC 議長  
Mr. Wishnu Wardhana  
President Director  
PT. Indika Energy, Tbk.

ABAC 共同議長  
持続可能な発展作業部会部会長  
Mr. Ning Gaoning  
Chairman  
COFCO Corporation